

(前略)

◇台湾・高砂族や現地人との交流

私たちが上陸したホランジアというところは、日本軍の兵站部（へいたんぶ）があったところで、兵站というのは、軍需品の補給や修理などをする後方基地のことなんです。私たちは船が撃沈されたので、鉄砲も弾も持たず、裸で上陸したわけです。一応66連隊に配属されて、パラオで合流した兵士と通信中隊を編成したんですが、通信中隊とは名ばかりでした。でもホランジアはそのころ一応兵站基地らしい賑やかさがありました。

当初は食料も1日2合位の米の配給があったんです。その他に食料調達もいろいろやりましたが、中でも思い出すのは、軍属として働いていた台湾出身の高砂族の人たちに、大変お世話になったことです。彼らは狩りの名人で、ジャングルにいたイノシシを捕ってきとくれて、よくご馳走になりました。その頃ジャングルには猪がたくさんいたんです。椰子の実も食べましたが、椰子には1本1本持ち主がいて、落ちてる実でさえ、やたらに採れないんです。見つかる中隊長に言いつけられちゃう。

私たちは現地人と上手くコミュニケーションをとって、友達になるように心がけました。最初は物々交換からはじめ、頭の毛も目の色も同じだから友達だと言って仲良くなり、班ごとに友達群をさがして、仲良くなっていきました。彼らは十五夜の夜はお祭りをし、陽気に踊るんです。私たちも踊りに誘われて輪の中に入って一緒に踊りましたよ。ダンスが

終わるとご馳走です。実は、私たちはそれが目当てでね。彼らはタロイモが主食なんです。これは、最上級のお客にだけ食べさせてくれるんだそうですが、シャコ貝と言うとても大きな二枚貝で、深く潜って採るんだそうです。大きな釜で茹でて、塩味だけですが、とっても美味しかったなあ。

私たちは彼らに気に入られるように精一杯気を使いました。しかしそんな状況もほんの一時だけで、転進命令で終わりです。次の部落ではそんなふうには上手く行きませんでした。でもあとあとのいい経験になりました。

◇空爆と食料・物資不足との戦い

ホランジアから360km離れたウエワクにも日本軍の兵站基地がり、飛行場もあつたんだそうですが、私たちが上陸した前年の18年8月米軍の攻撃にあつて、日本空軍は壊滅して完全守勢になってしまいました。私たちはウエワクへ向かうんですが、ホランジアから200kmのアイタベには米軍がすでに上陸していて、海岸線は米軍に確保されていた。海沿いは自殺行為だということで、やむなくジャングルへ入つたんですが、ジャングルに入ったその晩、ホランジアが空襲されたんです。間一髪でした。

4発のエンジンをつけた敵の大型爆撃機に、日本軍は探照灯で照らして狙いを定め、高射砲が火を噴くんですが、残念ながら爆撃機まで届かず、途中で弾がおじぎしてしまふんですよ。爆撃機はそのまま悠々と列も乱さず、爆撃を敢行して去って行く。これを見て、これじゃあ戦争にならないなあと実感しました。そういえば、九州を出てニューギニアに

上陸するまで、日の丸をつけた友軍の飛行機にお目にかかったことはありませんでしたねえ。

私は2年間ニューギニアにいたんですが、一番困ったのは食べ物がなかったことでした。最初の頃は1日米2合が配給になっていたんです。でもジャングルも深くなると、食料の補給がなくなつて、終戦までの1年間は米粒を見ない生活になりました。そうなるとうち何でも食べるようになりましてね。食べられる物と食べられない物の区別ができるようになるんです。昆虫類・爬虫類もどんどん食べるようになる。それも毒を持っているほど焼いて食べると美味しいし、パワーもつくんです。

脂肪・澱粉・たんぱく質のうち豊富にあるのは澱粉だけです。豊富にあるサゴ椰子から澱粉は摂れるんですが、これだけでは一カ月もしないうちに栄養失調で脚気になり、動けなくなります。カルシウムを摂るために昆虫を食べます。とにかく動く物は何でも食べました。草も食べられるものと食べられない草を大体見分けられるようになりました。バナナの葉に、採った草を包んで蒸すんです。開けると草がドロドロになる。それを舐めてみて苦ければ毒草、苦くなければ食べられると判断しました。

無いのは食べ物だけじゃない。もちろん紙もありません。尾籠(びろう)な話ですけど、用をたしてお尻を拭くのにもないんですから、草をむしってお尻をふく。ところが、とんでもない毒草で拭いちゃって、お尻がヒリヒリして閉口したことがありましたね。

毒草を見分けるために蒸すと言いましたが、それには火が必要です。その火には椰子

の実を使うんです。椰子の皮をむくとおが屑状のものが付いているので、それを取ると繊維だけが残るんです。その繊維をわらで縄をなうようによじつて、長い紐をつくる。その縄を何重にも首にも巻いて、その先に火をつけて火種が消えないようにして歩くんです。それをコプラ(コブラ)と呼んでね、炎も煙も出ない火種にしてみました。

(以下続く)